

農地利用最適化推進委員応募者・被推薦者

| 番号 | 応募者又は被推薦者（推薦を受ける者） | | | | | | | 認定農業者等の区分 | 応募の理由 | 推薦者（推薦する者） | | | | 農業委員への推薦・応募の有無 | | | |
|----|--------------------|----|----|--------|-----|---|--|-----------|--|--------------------------|-----|----------------|--|----------------|--|--|--|
| | 氏名 | 性別 | 年齢 | 職業 | 地区 | 経歴 | 農業経営の状況 | | | 個人 | 推薦者 | 職業 | 推薦理由 | | | | |
| | | | | | | | | | | 個人、代表者又は管理人の氏名 | 目的 | 構成員の数 | 構成員の資格 | | | | |
| 1 | 吐師 伸次郎 | 男 | 70 | 農業 | 飯野 | 元えびの市農業協同組合職員 元えびの市臨時職員（人・農地プラン担当） 元えびの市会計年度任用職員（農地中間管理事業担当） 現農地利用最適化推進委員 | 水田 50a | 未認定 | 1. 地域計画の推進 将来の農地利用のあり方について、集落において徹底的な話し合いを行って、人と農地の問題を解決していきます。 2. 農地中間管理事業の積極的な推進 | | | | | 無 | | | |
| 2 | 坂元 清美 | 女 | 66 | 農業 | 加久藤 | 平成20年 8月～現在まで 露地野菜ゴーヤを主体に営農 認定農業者に認定 平成20年10月～現在まで 施設園芸ビーマン栽培 平成23年 5月～現在まで 施設園芸ビーマン栽培 平成24年 8月～現在まで ゴーヤ、玉ねぎ栽培 令和 4年 8月～現在まで かぼちゃ栽培 令和 5年 7月～現在まで 農地利用最適化推進委員 令和 6年 1月～現在まで 稲作栽培 | 施設園芸 1, 000m ² 露地野菜 8, 700m ² 水稻 2, 700m ² | 認定済 | 農地情勢は高齢化と後継者不足等により、このえびの市においても担い手の減少や農地の利用集積の限界、耕作放棄地の増加が懸念されております。認定農業者として自分にできること又、後継者である子供達に農業の魅力と自然豊かな、えびのの農地を守っていくことを伝えていくことの重要性を感じています。農地利用最適化推進委員で得た、これまでの経験を活かし遊休農地の解消や農地利用の最適化を推進するとともに担い手の育成確保に努め行政と地域のパイプ役として地域農業の持続的発展を図るため、さらに農業委員活動に貢献したいと考えております。 | | | | | 有 | | | |
| 3 | 竹下 助範 | 男 | 72 | 農業 | 飯野 | H26. 7. 27～H29. 7. 26の3年間1期農業委員を務める。 H29. 7. 27～R2. 7. 26の3年間2期目の農業委員を務める。 R2. 7. 27～R5. 7. 26の3年間3期目の農業委員を務め会長代理を務める。 R5. 7. 27～R8. 7. 26の3年間4期目の農業委員並びに会長代理を務める。 農業委員を12年間担当させていただいた。 | 水田 21, 235m ² 、畑 759m ² の農地を所有しており水稻を中心に営農を行っている。地域の決め事を遵守し調和を大切にして協力し合って現在に至っている。 | 未認定 | 担い手への農地集積及び売買・賃貸の推進、耕作放棄地の防止、農業者年金加入の推進、全国農業新聞購読の推進等々、この11年間に培った経験を、一歩も二歩も踏み込んだ農業全般の発展に貢献したい思いで応募しました。 | | | | | 有 | | | |
| 4 | 豊永 ツユ子 | 女 | 75 | 兼業農家 | 飯野 | 平成元年9月～平成5年3月 なかよし認定保育園 平成5年4月～平成7年12月 えびの支援センターびーだま | 兼業農家 水稻 70アール 畑 自家用野菜作り | 未認定 | 自分の周辺が耕作放棄地がありもったいない。米の値段も上がったので採算も合うのでは。農業者の様々な課題解決の為に力を尽くしたい | | | | | 有 | | | |
| 5 | 庄村 里世 | 女 | 49 | 飲食店手伝い | 上江 | 令和6年11月に農地利用最適化推進委員の委嘱を受け、現在に至る。 | 実家に隣接する飲食店にて、育てた野菜を提供している。ヤギ糞や糞、EMなどを使い、化学肥料や薬剤を利用せず、持続可能な農業を目指している。（小規模） | 未認定 | えびの市の農業の現状を知り、今ある農地を守り、将来のえびの市の豊かな農業へつなげていきたいと思ったため。 | | | | | 無 | | | |
| 6 | 上村 ゆかり | 女 | 57 | 店舗従業員 | 真幸 | 現農地利用最適化推進委員 | | 未認定 | 農地利用最適化の推進に取り組んでいたい。 | | | | | 有 | | | |
| 7 | 土器 三紀夫 | 男 | 68 | 農業 | 真幸 | 現農地利用最適化推進委員（2期目） | 水稻 368a 栗 60a | 認定済 | 今までの経験を活かして取り組んでいたい。 | | | | | 無 | | | |
| 8 | 山野 真澄 | 女 | 47 | 農業 | 真幸 | 令和元年頃より、専業農家となり稻作主体で取り組んでいます。 現農地利用最適化推進委員 | 食用米 7. 5ha | 認定済 | 農業や農地の現状を把握し、自身も担い手世代として、これから農業について更に勉強させていただきたい。 | | | | | 無 | | | |
| 9 | 山口 長徳 | 男 | 85 | 農業 | 加久藤 | 農業委員 2期 現農地利用最適化推進委員 3期 えびの市土地改良区 理事長 西諸県地区土地改良協議会 筆頭副会長 宮崎県土地改良事業団体連合会 理事 | 田 3, 205m ² 畑 3, 734m ² | 未認定 | — | 伊集院 国光 有村 静夫 藏元 幸一 | | 農業 農業 農業 | 農業者の高齢化に伴い耕作放棄地や離農が進行している。農地集積等を進め地域農業を維持することが必要である。山口氏が適任であり推薦する。 | 無 | | | |
| 10 | 鶴田 幸一 | 男 | 75 | 農業 | 上江 | えびの市農業協同組合 えびの市役所 現農地利用最適化推進委員 | 水田 220a 畑 20a ハウス施設 5a | 認定済 | この先規模拡大、また農地の売却はできないか、貸し借りをしたい人達の役に立ちたい。 | | | | | 無 | | | |

農地利用最適化推進委員応募者・被推薦者

| 番号 | 応募者又は被推薦者（推薦を受ける者） | | | | | | | 応募の理由 | 推薦者（推薦する者） | | | | 農業委員への推薦・応募の有無 | |
|----|--------------------|----|----|-----|-----|---|--------------------------------|-----------|--|-----|-------|--------|----------------|---|
| | 氏名 | 性別 | 年齢 | 職業 | 地区 | 経歴 | 農業経営の状況 | 認定農業者等の区分 | 個人 | 推薦者 | 職業 | | | |
| | | | | | | | | | 個人、代表者又は管理人の氏名 | 目的 | 構成員の数 | 構成員の資格 | | |
| 11 | 本坊 千代子 | 女 | 70 | 農業 | 飯野 | 農業50年 昭和58年から有機農業に取り組んでいる。 | 田 14ha 畑 7ha 有機農業 | 未認定 | 放棄地が多くなってきたので、これからの方配の為。 若者がどうしたら取り組んでいけるか市・県の方と取り組んでみたい。 | | | | | 有 |
| 12 | 下原 小枝子 | 女 | 62 | 農業 | 飯野 | 農業委員2期 農地利用最適化推進委員（現在） | 稲作と園芸の專業農家 | 認定済 | 委員活動をして農地の問題点（扱い手不足、耕作放棄地の発生防止と解消）や農業者年金などを今まで以上に普及させていく必要があると感じています。段々と制度は難しくなってきてますが委員の方々、事務局の人達とこれまで以上に学習したいと思っています。また女性委員の活動を1つでも増やし、楽しい活動が出来ればと思っています。 | | | | | 無 |
| 13 | 永田 利広 | 男 | 67 | 農業 | 加久藤 | H2.2～R5.3 株式会社ミスミ S56～現在 農業（繁殖牛） R元 西長江浦上自治会長 現農地利用最適化推進委員 | 専業 水稻50a イタリアン WCS | 認定済 | 農業活性化のため | | | | | 無 |
| 14 | 宮田 吉人 | 男 | 74 | 会社員 | 飯野 | 農業委員2期 農地利用最適化推進委員3期（現） | 水稻 約23a | 未認定 | もう3年農地利用最適化推進委員として頑張りたい。 | | | | | 無 |
| 15 | 福永 ふじ子 | 女 | 69 | 農業 | 真幸 | S53年4月～R3年3月までえびの市役所勤務 | 稲作 24, 070m ² | 未認定 | 現農地利用最適化推進委員津口さんの勧め。 | | | | | 無 |
| 16 | 岩屋 美智子 | 女 | 72 | 農業 | 真幸 | 現農業委員（3期目） | 稲作 WCS | 認定済 | 遊休農地解消 後継者に農地あっせん | | | | | 無 |
| 17 | 杉元 義男 | 男 | 75 | 農業 | 加久藤 | 元NOSAI西諸職員・理事 元湯田自治会長 元農業委員 現農地利用最適化推進委員 中央農地組合監事 | 水田 40a耕作 畑 10a耕作 | 未認定 | 農業委員・農地利用最適化推進委員の経験をいかし、遊休農地の解消に努めたい。 | | | | | 無 |
| 18 | 吉田 尚美 | 女 | 61 | 農業 | 飯野 | H6年2月～ 就農 R2年7月27日～ えびの市農地利用最適化推進委員 | 営農年数 31年 耕作面積 約15ha (水稻) | 未認定 | これまでえびの市の農業の農地集積、遊休農地対策、色々な内容について活動してきましたが、さらに次回も農業委員活動に貢献したいと考えています。また、女性委員として女性農業者の意見ももっときいていきたいと思います。そして、これまでの活動で県内県外の女性農業委員と交流を重ねてきましたので、これからも続けていきたいです。 | | | | | 無 |
| 19 | 田上 みゆき | 女 | 66 | 自営業 | 飯野 | 農業委員3期目（中立） | 家庭菜園程度 水田（飯米）18a | 未認定 | 4期目を推進委員として活動し、若い人に伝え引退したい。 | | | | | 無 |
| 20 | 園田 義保 | 男 | 74 | 農業 | 真幸 | 農業委員2期 現農地利用最適化推進委員3期 | 水稻 118a WCS 100a | 未認定 | これまでの経験を生かし、農業関係の発展に寄与したい。 | | | | | 無 |

農地利用最適化推進委員応募者・被推薦者

| 番号 | 応募者又は被推薦者（推薦を受ける者） | | | | | | | 応募の理由 | 推薦者（推薦する者） | | | | 農業委員への推薦・応募の有無 | |
|----|--------------------|----|----|-----------|----|--|---|-----------|---|------------------------|--|--|----------------|---|
| | 氏名 | 性別 | 年齢 | 職業 | 地区 | 経歴 | 農業経営の状況 | 認定農業者等の区分 | 個人 | 推薦者 | 職業 | | | |
| | | | | | | | | | 個人、代表者又は管理人の氏名 | 目的 | 構成員の数 | 構成員の資格 | | |
| 21 | 米倉 千春 | 女 | 63 | 農業 | 飯野 | 令和4年7月27日より現在まで農地利用最適化推進委員 | 米専業農家 130a 農家民泊経営（春ちゃんの菜園畑／北きりしま田舎物語推進協議会） | 未認定 | 現在、農地利用最適化推進委員として活動しています。 地域の農業がこの先もよりよく活用できる様に微力ながらお手伝いできればと思います。 | | | | | 無 |
| 22 | 井川原 修 | 男 | 60 | 農業 | 上江 | S59年～ 農業（繁殖牛、水稻） H27年～ JAえびの市理事・運営委員 R 3年～ 西諸畜連理事・運営委員 | 繁殖牛（母牛60頭） 水稻 940a WCS 80a | 認定済 | — | 小吹 敏博 稻田 優 徳重 幸次 | 団体役員（本部長） 農業、農業委員会会長、団体運営委員 団体役員（常務理事） | J Aえびの市の役員として経験豊富であり又、地域貢献活動も積極的に取り組んでおられます。 | 有 | |
| 23 | 山王 義文 | 男 | 62 | 会社員 農業 | 真幸 | ゴールド工業 2005年～2025年 (株)えびのオリーブ園 2022年～2025年4月代表者 | 1985年から就農 水稻300アール 畑20アール | 未認定 | えびの市農業発展の為 | | | | | 無 |